

# 東北地区



**貝森義仁**

東北地区代表

**庄子隆弘**

副代表

●主な活動団体（普及委員会関係）

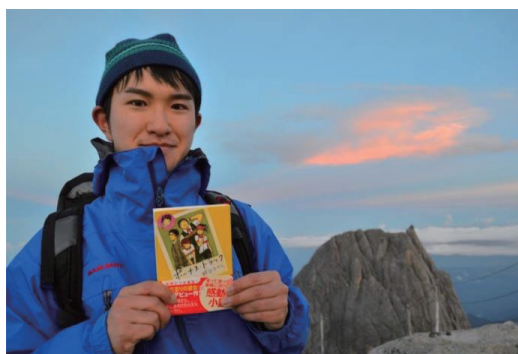
・みちのく図書館員連合（MULU）

・東北芸術工科大学

・宮城教育大学

ビブリオバトルサークル BIBLion

## 平成 26 年度活動報告



ビブリオバトル東北地区代表  
気仙沼市立鹿折中学校 教諭 貝森義仁

みちのく図書館員連合 (MULU) 幹事  
ビブリオバトル東北チーム代表  
庄子隆弘 (東北地区)  
連絡先: 1112yunbo@gmail.com



### 1. 春のビブリオバトルワークショップへの参加

6月に札幌で行われた春のワークショップに参加。中学校現場でのビブリオバトルについて実践報告を行った。

### 2. 宮城県高等学校図書館司書研修会での講師

宮城県高校司書を対象とした研修会で、講師を務めた。学校現場で楽しめるビブリオバトルの工夫について講話を行った。

### 3. 全国ビブリオバトルシンポジウムパネリスト参加, 大学生全国大会観覧

全国シンポジウム教育セッションにパネリストとして参加。学校現場での実践例を失敗した事例も取り上げながら発表した。翌日の全国大会も観覧した。

### 4. ビブリオバトルワークショップ I N仙台主催

12月23日に仙台市でビブリオバトルワークショップを主催した。教育現場のみならず、公共図書館職員、大学生等、幅広く集まり、ビブリオバトルを楽しむ場となった。また、実践報告や、ワークショップを取り入れ、今後の東北地区での顔の見えるつながりをテーマにイベントを行った。

### 5. ビブリオバトルハンドブック (開催例「中学校」「登山×ビブリオバトル」執筆)

4月上旬に発売予定となっている、ビブリオバトルハンドブックの一部を担当させていただいた。

### 1. 概況

私が主に活動している仙台地区では、年を追ってビブリオバトルに対する問合せが多くなっている。公共図書館、学校図書館、大学図書館と広い範囲でビブリオバトルへの関心が高まっていることが伺える。初の試みとして開催した「ビブリオバトルワークショップ」において、一般参加者と話す機会があり、社会人向けビブリオバトルの可能性を感じた。こうした現在の需要の高まりに比べ、対応できる人材が不足していることが今後の課題である。

### 2. 運営

- ① 東北文化学園大学ビブリオバトル: 企画・準備・運営
- ② 全国大学ビブリオバトル 2014~京都決戦~予選: 準備・運営
- ③ 全国大学ビブリオバトル 2014~京都決戦~地区決戦: 準備・運営
- ④ 全国大学ビブリオバトル 2014~京都決戦~: レポート作成
- ⑤ としょかん・メディアテークフェスティバル 2014@ビブリオバトル: 企画・運営
- ⑥ 仙台市泉図書館主催「中高生ビブリオバトル」: アドバイス
- ⑦ ビブリオバトルワークショップ 2014@仙台: 準備・運営

### 3. 講演

- ① トーハンセミナー「本と人をつなげるビブリオバトルを開催してみよう!」: 研修講師
- ② ビブリオバトルの教育現場での活用について~楽しいビブリオバトルの普及を目指して~: 準備・調整 ※講演は貝森東北地区代表のみ

### 4. メディア

- ① 河北新報社: 東北文化学園大学図書館でのビブリオバトル取材対応
- ② NHK 仙台「てれまさむね」: 全国大学ビブリオバトルの取材対応
- ③ 『ビブリオバトルハンドブック』: 「河原でビブリオバトル」部分の執筆

以上

※上記の項目について、詳細については報告書等にまとめている。

## 2014年 活動報告書

東北地区 地区担当  
仙台市立長命ヶ丘中学校  
教諭 後藤 俊

今年度の主な活動としては、以下のようなものである。

### 1 学校でのビブリオバトルの実践

国語科の授業や、図書委員会、昼休みなどに、ミニ・ビブリオバトルを中心に実施してきた。回を重ねるごとに、生徒の選書や、プレゼンテーションの質が上がってきたように感じている。生徒たちがビブリオバトルを、「楽しいゲーム」として捉えてくれている実感を得ている。

### 2 教育現場での普及活動

夏には仙台市の小中学校の先生方を対象に、図書館教育研修の場でビブリオバトルの演習と実践報告をさせていただいた。

### 3 ビブリオバトルシンポジウムへの参加

教育セッションにおいて、遠隔参加ではあるが、加えていただいた。

### 4 ビブリオバトル京都決選・東北地区予選の運営

東北地区担当として、ビブリオバトル京都決選・東北地区予選の運営に司会として参加させていただいた。

### 5 ビブリオバトルワークショップ（東北）への参加

東北地区代表、貝森君が主催した、ビブリオバトルワークショップ（東北）で教育現場での実践報告をさせていただいた。

## 2014年度 活動報告書

川西蘭（東北地区）  
東北芸術工科大学 芸術学部 文芸学科  
990-9530 山形市上桜田 3-4-5  
023-627-2028

学内を中心に活動を行った。以下、列挙する。

通年で不定期にチュートリアル「ビブリオバトル戦略会議」を開催。チュートリアルは学内で実施されている課外活動で学年を問わず自由に参加できる。「ビブリオバトル戦略会議」は、ビブリオバトルで勝利するための戦略を実戦から解析することを目的としている。

10月初旬。1年生の必修演習科目「日本語表現 2」でビブリオバトルを実施した。学生48人全員がバトラーを体験するため2ラウンド制にした。第1ラウンドは6班にわかれ、各班でバトルを実施（オーディエンスはなし）。第2ラウンドは、各班から選出されたチャンプ本同士でバトル（発表者以外はオーディエンス）し、全体のチャンプ本を決定した。

口頭で本の紹介を行うビブリオバトルと対比するため、同じ本の書評を書くという課題を出している。口頭と記述の差異とそれぞれの特性を確認することが目的。

10月下旬。全国大学ビブリオバトル京都決戦の地区予選会を本学図書館で開催した。学内外にバトラーを募り、6名（うち1名は学外・県外から）の参加を得た。バトラーの数を揃えるのに苦労するのが本学の現状である。文芸学科生以外の参加が少ないのも悩み。定例化することでバトラーとしての参加への心理的障壁を下げたいと考えている。

学外生は宮城の大学のビブリオバトルサークルに所属する学生で、サークル活動の一環として本学開催の予選会に参加した。活発な活動やビブリオバトルの内容構成に大変に刺激を受けた。他大学、サークルとの交流は必要不可欠と痛感した。

11月下旬。全国大学ビブリオバトル京都決戦の地区決戦大会（仙台市）に参加。東北地方の各予選会のチャンプ本紹介者の発表を聞く。さまざまな発表スタイルは大変に勉強になった。戦略の策定にも今後役立てていきたい。ビブリオバトルはそれぞれの地域やサークルで独自の発展をしているのが興味深い。画一化されるよりも個性的な多くのスタイルがある方が面白いし、全国大会を実施する意味もあるだろう。残念ながら、山形地区予選会のチャンプ本紹介者は地区決戦を勝ち抜けなかった。

11月。NHK山形のローカルニュース枠でビブリオバトルが紹介された。番組制作のために取材協力した。一般的な認知を広めるうえで効果があったのではないかと思う。

新年度は、学内チュートリアル活動の活性化とビブリオバトルの定期開催を目指す。また、積極的に高校生や中学生への浸透、社会人への普及をはかりたい。

以上。